

「大学教育・学生支援推進事業」 学生支援推進プログラム (平成21年度)

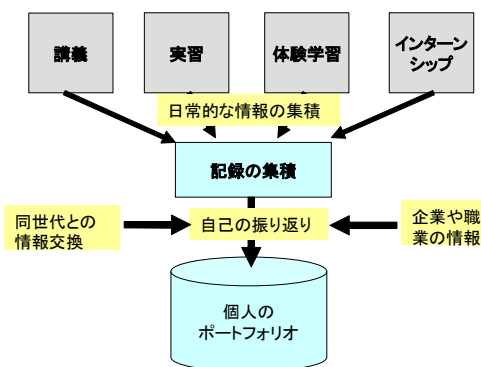
「eポートフォリオを活用した 食・農型就職支援の展開」

酪農学園大学 事例紹介

本事業の概要

- ☑ 在学中の「学び」を振り返るための支援ツールとしてeポートフォリオの利用を促進する
 - ▶ eポートフォリオ活用促進活動
- ☑ eポートフォリオでの「自己の振り返り」により、学生の適職選択を促進する
 - ▶ キャリア形成活動の支援

eポートフォリオでの記録の集積



本事業の目的

- ☑ 学生個々の「振り返り」に基づいた就職活動により就職率と内容を向上させる

本事業の具体的内容(項目)

- ☑ eポートフォリオの利用促進
 - ▶ 学生のeポートフォリオの活用を促進するためのシステムを整備
 - ▶ eポートフォリオをきっかけとして、学生に大学での「学び」を意識させるための講演と資料の作成・配布
- ☑ 「自己の振り返り」を適職選択につなげる
 - ▶ 就職セミナーを実施
 - ▶ 企業情報をeポートフォリオを用いて学生に公開

本事業の達成目標

- ☑ 学びの過程を仕事選びへと結実させる
- ☑ 就職時に適職を選択したという意識を10%向上させる

取組に関して留意した点

- ☑ 幅広い学生に事業の成果を届ける
- ☑ 事業終了後も活動を発展・継続できる
- ☑ 他大学にも活用してもらうことにより本学のさらなる意識向上につなげる

取組に関して苦慮した点

- ☑ 計画したeポートフォリオの活用が進まない
- ☑ 活動に興味を持つ学生・教員がなかなか増えない

取組に関して工夫した方針

- ☑ 活用の呼びかけのみではなく、必然的に活用するように活動を展開
- ☑ 活動に賛同する学生・教員を確実に増やしていく
- ☑ 他大学との協力を拡大する

取組の具体的内容

- ☑ eポートフォリオの利用促進
 - ▶ eポートフォリオシステムとしてMaharaを導入し利用拡大を図った。
 - ☑ 使いやすいMaharaマニュアルの作成
 - ☑ 講義にMaharaを活用するソフトウェアの開発と普及
- ☑ 大学での「学び」と職業の関係を意識させるための**仕事講演会の実施**
- ☑ 学生が進路を理解するための**仕事ブックレット**の作成・配布
- ☑ 「自己の振り返り」を適職選択につなげる
 - ▶ **就職セミナー**を実施
 - ▶ **企業情報**をeポートフォリオを用いて学生に公開

プログラムの進行

1 仕事講演会と仕事ブックレットの作成でコアになる学生スタッフを養成

- ☑ eポートフォリオの導入と稼働まで時間を要したため講演会とブックレットから着手した。
 - ▶ それぞれに参加した学生に本事業を説明し、以後の**参加を促進**
 - ▶ 合わせて、一部の学生を**eポートフォリオのマニュアル作成スタッフ**に選定
- ☑ **仕事講演会**
- ☑ **仕事ブックレット**の作成

プログラムの進行

1.1 仕事講演会

- ☑ 水族館館長
- ☑ 産業動物獣医師
- ☑ 野生動物管理会社代表
- ☑ 企業に勤める卒業生
- ☑ 自然環境保全研究者



参加者:のべ340名

プログラムの進行

1.2 仕事ブックレット

- ☑ 獣医(2009年度)
- ☑ 酪農(2010年度)
- ☑ 農業経済(2010年度)

A field of graduates
卒業生たちのいるフィールド
仕事ブックレット

先輩に聞いた
農業、食料、動物に
関わる仕事とは。

酪農学園大学 酪農学部酪農学科
RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

A field of graduates
先輩に聞いた
農業、食料、動物に
関わる仕事とは。

酪農学部 卒業生たちのいるフィールド

<http://www.carrier-port.jp/mahara> からダウンロード可能

The Veterinary Profession
獣医学部 仕事ブックレット

獣医師という
仕事、
そして生き方。

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY
酪農学園大学
School of Veterinary Medicine

The experts of the field
酪農学部酪農学科 仕事ブックレット

社会、経済、食料。
フィールドの
達人たち。

酪農学園大学 酪農学部 酪農学科
RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

The Experts of the field
酪農学部 酪農経済学科 仕事ブックレット

社会、経済、食料。
フィールドの
達人たち。

プログラムの進行

2 eポートフォリオMaharaマニュアル作成

- ☑ 学生スタッフの参加により、使う側に立ったマニュアルを作成

学生が使いやすい機能を
分かりやすく

<http://www.carrier-port.jp/mahara>からダウンロード可能

プログラムの進行

3.1 オープンソースのeポートフォリオMaharaの導入

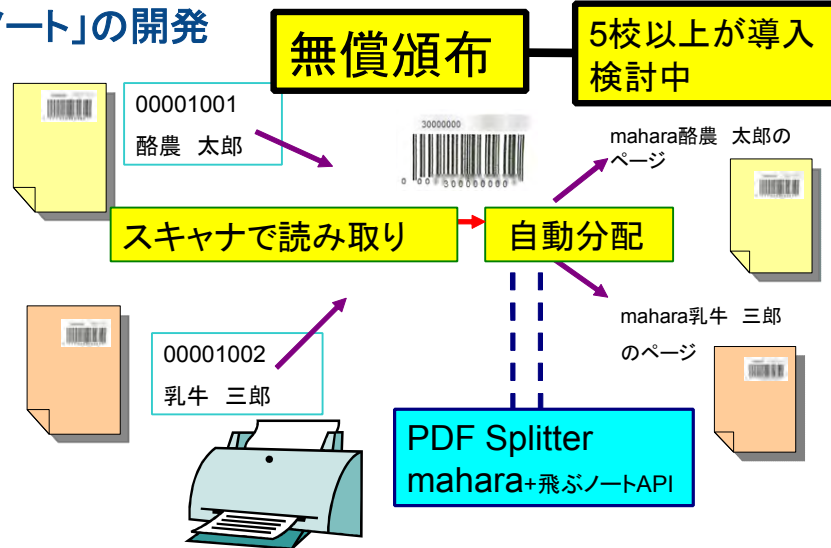
- ☑ ニュージーランド製のSNS型eポートフォリオ
- ☑ Maharaは、マオリ語で「思索」「考え」という意味

Flexible Learning Network
www.flexible.co.nz

// see the possibilities

プログラムの進行

3.2 eポートフォリオMahara活用授業支援システム 「飛ぶノート」の開発



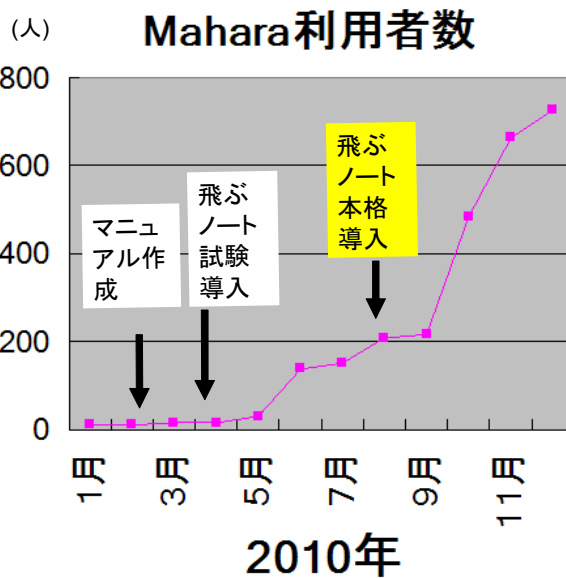
講義での活用により、Maharaの学内知名度と利用者数をアップする

飛ぶノート導入とMahara利用者数

☑ 講義での活用をキッカケに、利用者数が増大



ロゴも決定
(エゾモモンガ)



プログラムの進行

4 企業ページのMaharaへの設置

5 就職セミナー

- ☑ **YouTube**を活用した低コストの会社紹介ページを作成

▶ 広い範囲の企業の活動を学生が知ることができる



地域企業と連携

就職セミナーと連動(予定)

プログラムの今後の計画

- ☑ 拡大したeポートフォリオ利用学生にキャリアパスとの接点を提供

eポートフォリオ参加学生の拡大

企業との連携

